

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和6年3月5日（火）

### 2 確認箇所

免震重要棟集中監視室

### 3 確認項目

3号機圧力抑制プール（S/C）内滞留ガスパーズ作業の実施状況

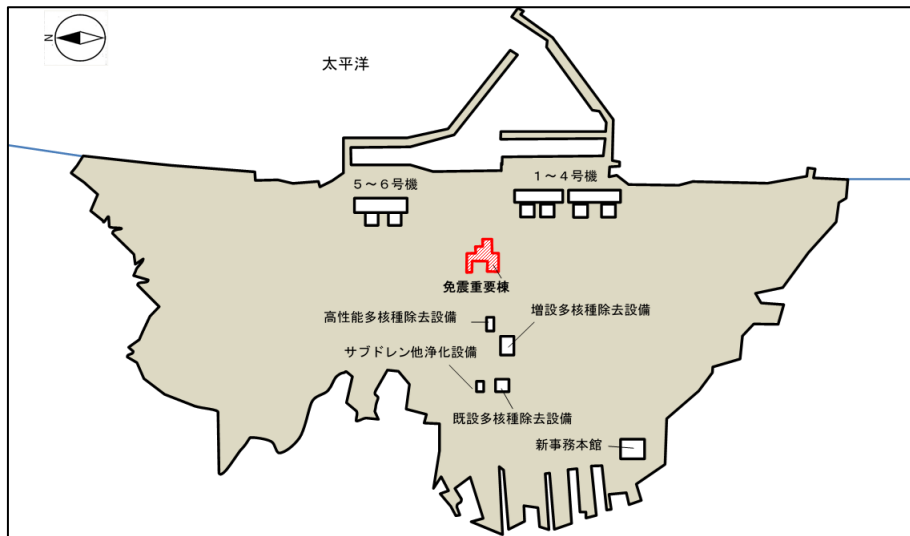
### 4 確認結果の概要

3号機の圧力抑制プール（以下「S/C」という。）内には、事故時に発生したガスの滞留に加え、水の放射線分解による水素ガスも滞留しており、東京電力では、滞留ガス中の水素によるリスクを低減するため、昨年12月に、3号機のS/C内に滞留しているガスをパーズする作業<sup>\*</sup>を開始した。本日は、パーズ作業中における3号機の原子炉格納容器（以下「PCV」という。）内の圧力や温度等の各種パラメータの監視状況を確認するとともに、作業の現況について聴取した。

（図1）（前回確認：令和5年12月19日）

- ・現地確認時、東京電力の担当者が集中監視システムにより、3号機のPCV圧力、PCV温度及びPCVガス管理設備出口の水素濃度、ダスト濃度、希ガス濃度等PCVパラメータの推移を監視していた。（写真1）
- ・パーズ作業中の3号機PCVの各パラメータを確認したところ、異常は認められなかった。
- ・東京電力によると、これまでのパーズ作業により、3号機PCVの各パラメータに異常はなく、S/C内滞留ガス中の水素濃度は、当初の約75%から約72%に低下したとのことであった。
- ・また、本日は、8時20分から3時間の作業で、S/C滞留ガス6 m<sup>3</sup>をパーズする予定のことであり、当面の間、日中の時間帯で同様のパーズ作業を継続するとのことであった。

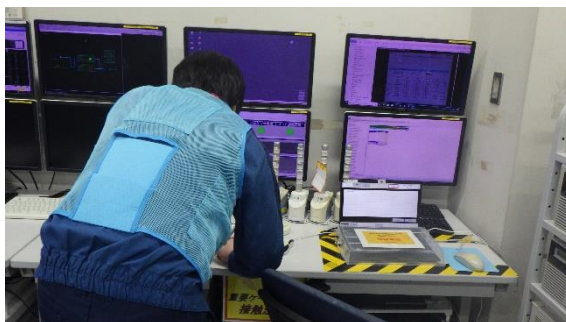
※3号機S/C内滞留ガスパーズ作業：原子炉建屋1階に設置したガスパーズ設備（隔離弁、圧力計、流量計、ガス採取弁等で構成される仮設備）を介して、S/C頂部とドライウェル（D/W：PCVのS/C以外の部分）を接続し、PCV保有水の水頭圧により、流量調整やガス採取を行いながらS/C滞留ガスをD/Wに送気する作業。なお、D/Wからの排気は、PCVガス管理設備を経由し、水素、希ガス及びダスト濃度を監視しながら大気放出されている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
3号機PCVパラメータ確認状況①  
(免震重要棟集中監視室内)



(写真1-2)  
3号機PCVパラメータ確認状況②  
(免震重要棟集中監視室内)

- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。